

# 小白川キャンパス 地域教育文化学部説明会

日 時

平成26年8月2日(土) 9:30~16:30(受付:8:30~)

プログラム

## ◎実施内容

### ■全体説明(基盤教育2号館)【1回目】9:30~10:00 【2回目】13:30~14:00

◎学部の概要・当日のスケジュール・プログラム等を説明します。

### ■コース別説明, 体験学習等【1回目】10:15~11:45 【2回目】14:15~15:45

◎コース毎に, コースの概要・入試・就職状況等の説明・在校生からのアドバイス・大学授業の体験学習・質疑応答等を行います。

体験学習の詳細については, 「コース別体験学習内容一覧」をご覧ください。

体験学習に参加希望の方は, 事前申込みをお願いします。

### ■質問・相談コーナー(基盤教育1号館128教室)【1回目】11:15~12:30 【2回目】15:15~16:30

◎教員が, 学部・コース・その他(入試, 就職, 学生生活等)に関する質問や相談にお答えします。

### ■学生との相談コーナー(基盤教育1号館126・127教室)【1回目】11:15~13:30 【2回目】14:45~16:30

◎在校生が, 授業・学生生活全般に関する相談にお答えします。

## コース別体験学習内容 【1回目】10:15~11:45 【2回目】14:15~15:45

## ■児童教育コース

教室等 : 基盤222教室(基盤教育2号館2階) <コース説明会場・①及び③の体験学習会場>  
基盤221教室(基盤教育2号館2階) <②の体験学習会場>  
基盤213教室(基盤教育2号館1階) <④の体験学習会場>

体験学習内容 : 【1回目】①及び②を行います。 【2回目】③及び④を行います。

### ①特別支援プログラム『大学で学ぶ特別支援教育の世界』(講義)大村一史

大学生になってはじめて学ぶことができる学問分野の一つが特別支援教育です。特別支援教育へは, 教育方面からだけでなく, 実には様々な分野からの多角的なアプローチが可能です。まず, 本学部の特別支援プログラムでは, どのようなことが学べて, 将来どのように活躍することができるのかをお話しします。つぎに, 私の研究室で取り組んでいる研究を紹介します。近年, 特別支援教育が対象とする障害の理解と支援に, 脳研究を始めとする先端科学の最新の知見が積極的に生かされています。先端科学をベースとした実験室で行われる研究がどのように教室における特別支援教育に関わっていくことができるのかを実例等を織り交ぜながらお話しします。

### ②教科実践力向上プログラム『心に残る授業』『日本の子どもたちに求められること』(講義・演習)坂本明美

#### 『心に残る授業』

(1)グループ活動: 4~5人のグループで, 小学校から高校までに受けた授業の中で心に残る授業の一つを取り上げて発表していただきます。

(2)全体での交流: いくつかのグループから, 自分にとっての「心に残る授業」を発表していただきます。発表内容を受けて, 「もっと聞いてみたいこと」や「感想」を出してもらい, 交流します。

#### 『日本の子どもたちに求められること』

PISA調査に関する資料や, 他国との比較を行なったデータ資料等を扱いながら, 日本の子どもたちの現状と, 日本の子どもたち・大人たちに求められることについて, 論点を絞って考えてみます。

### ③心理プログラム『大学で学ぶ心理学』(講義・演習)奥野誠一

児童教育コースで学ぶことができる科目を紹介しながら, 心理学は, どのような学問で, どのようなテーマを扱うのか紹介し

ます。その上で、カウンセリングに関するテーマを少し詳しく説明します。

#### ④教科実践力向上プログラム『日本の理科教育の課題—理科離れは本当か—』(講義) 鈴木宏昭

現代における日本の理科教育の課題(理科離れなど)などを、世界の理科教育との比較を通じて説明します。その際、海外の理科教科書など具体的な教材を提示する予定です。そのほか、小学校理科授業における具体的な教え方のコツなども説明します。

### ■異文化交流コース

- 教室等 : 114 番教室(地域教育文化学部1号館1階) <コース説明会場>  
111 番教室(地域教育文化学部1号館1階) <①及び③の体験学習会場>  
112 番教室(地域教育文化学部1号館1階) <②及び④の体験学習会場>

体験学習内容 : 【1回目】①及び②を行います。 【2回目】③及び④を行います。

#### ①『異文化交流に関する哲学的考察』(講義) 松本大理

異文化と接する際に、私たちはさまざまな反省的事象に出会います。その事象について、特に哲学的に意義のあるものを取り上げ、分析を進めます。そうした分析の一つとして、「文化」という言葉を取りあげ、この言葉の多義的性格とそこから期待される文化理解の見通しを検討します。

#### ②『That's Different! : Talking about Japanese Customs in English.』(演習) ヴァーリ・ミラー

Visitors to Japan are very interested in Japanese culture. They are curious to learn more about everyday life, festivals, and unique customs. If you travel abroad you will also be expected to talk about your country. In this hands-on lesson students will learn some basic vocabulary and strategies to introduce Japan to the world.

(この授業はほとんど英語で行います。)

#### ③『日本語を支える漢字文化』(講義) 三上英司

異文化交流が生み出した漢字文化の特徴を講義します。

#### ④『アメリカ・イギリスの文化に触れてみよう—映画・小説・音楽など』(講義) 金子 淳

アメリカ・イギリスの文化について、スライドや映画などを使って簡単な説明をします。英語の教員免許取得を目指す英語プログラムの紹介も行います。

### ■造形芸術コース

教室等 : 132 演習室(地域教育文化学部1号館3階)

体験学習内容 : 【1回目】【2回目】とも同じ内容を行います。

#### 『石膏寄せ型を用いて立体の複製をしよう!』(実習) 土井敬真

彫刻の技法は粘土を用いるモデリングと木や石を削るカービングとに大きく分けることができます。モデリングの場合、作品完成後に粘土のままでは強度が不十分ですので、石膏やプラスチック、ブロンズといった別の素材に置き換えたりします。石膏取りは原型の上に石膏の外型をつくり、中の原型を取り出した後、外型の中に作品となる石膏を流し込んで作品を石膏に置き換えます。今回は外型に寄せ型という技法を用いることによって、ひとつの外型から複数の石膏作品を複製する工程の一部を実際に体験します。

### ■音楽芸術コース

教室等 : サークル棟音楽練習室

体験学習内容 : 【1回目】①を行います。 【2回目】②を行います。

#### ①『合唱を楽しもう!』(演習) 藤野祐一

混声四部合唱を演奏します。

#### ②『ピアノ公開レッスン』(演習) 松山 元

在学生の実技レッスンを公開で行います。

### ■スポーツ文化コース

教室等 : 基盤 211 教室(基盤教育2号館1階)

体験学習内容 : 【1回目】【2回目】とも同じ内容を行います。

#### 『反応の限界に迫る—筋肉と神経の科学—』(講義(一部演習を含みます)) 新海宏成

100m走のスタート、剣道における一瞬の攻防、球技でのボールを巡る一対一など、スポーツではスタート合図や相手の動作に反応し素早く動き出す能力が求められます。本講義では、筋肉と神経の科学に関する基礎的な解説を通じて、人間の身体が動くメカニズムやスポーツ選手の反応時間の限界について迫ります。また、受講者の反応時間を実際に測定し、日本人の平均値との比較やトップアスリートの記録に挑戦できる体験コーナーも設けます。

## ■食環境デザインコース

教室等： 131 番教室（地域教育文化学部 1 号館 3 階）〈コース説明会場〉  
調理実習室（地域教育文化学部 1 号館 4 階）〈①の体験学習会場〉  
133 番演習室（地域教育文化学部 1 号館 3 階）〈②の体験学習会場〉

体験学習内容：【1 回目】【2 回目】とも同じ内容を行います。

### ①『だしと塩分濃度』（実習）矢口友理

「だし」は旨味成分を含むので、しっかりとだしを取ることは調味料の使用を抑え、素材の味を引き立たせる効果があります。しかし広く行われているインスタントだしは塩分を含むので塩分の取りすぎにつながる危険があります。この模擬授業ではだしの違いによる 3 種類の味噌汁の塩分測定と飲み比べを行い、だしの使用と塩分濃度の違いを体感します。

### ②『食環境デザインコースの授業と研究室はどんなことやっているの?』（講義）山岸あづみ

食環境デザインコースの実験・実習を中心に授業内容について説明します。また、3 年生から配属される研究内容について紹介します。

## ■生活環境科学コース

教室等： 自然科学多目的第二実験室（地域教育文化学部 2 号館 3 階）

体験学習内容：【1 回目】①を行います。【2 回目】②を行います。

### ①『川のはたらきを考えてみよう』（実習）川邊孝幸

山を削り平野をつくる川のはたらきと地層の堆積について、水路実験における実際の観察をもとに、その原理を学習します。

### ②『大空間建築をつくってみよう』（講義・実習）三辻和弥

前半は講義形式で、古代建築から現代の超高層ビル・大空間構造まで、より高く、より大きく空間を支える建築構造の発展を紹介し、あわせて、地震に強い建築構造のしくみについて解説します。

後半は、前半の講義で紹介した建築構造の中から、大空間を支えるアーチ構造や張弦梁構造の模型を実際に作製して、その強さを実感します。

## ■システム情報学コース

教室等： 情報処理実習室 A（地域教育文化学部 1 号館 3 階）

体験学習内容：【1 回目】①を行います。【2 回目】②を行います。

### ①『円周率を数える』（講義・演習）三枝崎 剛

平行線の上から針を落とし、針が平行線と交わった回数から円周率を計算する、「ピュフォンの針の実験」を紹介し、実際に皆で実験して円周率の近似値を求めてみましょう。その後、なぜこの方法で円周率が計算できるのか考えます。そこには「モンテカルロ法」という確率と面積を結びつける大変強力なアイデアが潜んでいます。

### ②『複雑な社会問題をときほぐす—数理社会学入門—』（講義）山本英弘

我々の社会に存在する諸問題は、どのような仕組みで生じているのでしょうか、また、どのようにすれば解決できるのでしょうか。この授業では数学的な思考法を用いて、社会現象の「なぜ」の解明する数理社会学という学問について紹介します。文系か理系でお悩みの方、どうぞいらしてください。

## ■養護教諭特別別科【2 回目のみ実施】

教室等： 113 番教室（地域教育文化学部 1 号館 1 階）

内容： 山形大学養護教諭特別別科は、養護教諭 1 種免許取得を目指す皆さんが学ぶコースです。オープンキャンパスでは、次のような点について、担当の教員が説明し、皆さんからの質問にお答えしたいと思います。

1. 養護教諭特別別科の概要について
2. コースでの授業について
3. 教員採用試験等について
4. 学生生活について

学生生活については、現役の別科学生から語ってもらう時間を設け、また、質問に答えられる機会を作りたいと考えています。毎年、養護教諭特別別科には、何年か社会的な経験を積んでから入学してくる学生もおります。多様な人材が集うコースの概要について、オープンキャンパスで理解を深めていただく機会にしたいと考えています。